

自動車推進軸用鋼管

Carbon Steel Propeller Shaft Tubes for Automobiles

1. 適用範囲 この規格は、自動車に使用する推進軸用鋼管（以下、管という。）について規定する。

備考 この規格の中で用いる単位及び数値はS Iによるものであり、{ } を付けて示してある単位及び数値は従来単位によるものであって、参考として併記したものである。

2. 制定の目的 自動車推進軸用鋼管の標準化、合理化を図り、原価低減と適正品質の確保を図ることを目的とする。

3. 種類及び記号 管は、その機械的性質により表1の4種類とする。

表1 種類及び記号

種類	記号	適用
13種	1 STKM 13B-P1	熱間圧延鋼帯を用いて製造したもの
	2 STKM 13B-P2	熱間圧延後強度のスキンプラス圧延加工を施した鋼帯を用いて製造したもの
14種	1 STKM 14B-P1	熱間圧延鋼帯を用いて製造したもの
	2 STKM 14B-P2	熱間圧延後強度のスキンプラス圧延加工を施した鋼帯を用いて製造したもの

4. 機械的性質

4.1 管の引張強さ、降伏点及び伸びは表2のとおりとする。

表2 機械的性質

種類	記号	引張強さ N/mm ² {kgf/mm ² }	降伏点 N/mm ² {kgf/mm ² }	伸び % (11号試験片又 は12号試験片)
13種	1 STKM 13B-P1	441以上 {45} 以上	353以上 {36} 以上	20以上
	2 STKM 13B-P2	471以上 {48} 以上	412以上 {42} 以上	20以上
14種	1 STKM 14B-P1	500以上 {51} 以上	392以上 {40} 以上	15以上
	2 STKM 14B-P2	520以上 {53} 以上	451以上 {46} 以上	15以上

備考 1. 表記降伏点の値は、耐力にかえることができる。

2. 厚さ8mm未満の管で、12号試験片を用いて引張試験を行う場合には、伸びの最小値は、厚さが8mmより減少すること。1mmについて1.5%の割合で表記の伸びから減じたものとし、JIS Z 8401(数値の丸め方)により整数値に丸める。

3. 外径40mm以下の管については、表記の伸びは適用しない。ただし、特に必要ある場合には、注文者と製造業者との協定による。

4. 12号引張試験片は、溶接部を含まない部分から採取する。

引用規格及び関連規格：9ページ参照

旧規格番号：JASO 6504